

平成29年11月号

図書便り

情報コーナーでは、男女共同参画に関する約1,600冊の図書の貸出しを行っています。ぜひご利用ください！



特集

DV ドメスティック・バイオレンス ～なぜ人は人を傷つけるの？～

ドメスティック・バイオレンス 愛が暴力に変わるとき

森田ゆり/著
小学館/刊

ドメスティック・バイオレンスの被害者たちは被害を人に話せない。それはなぜか？本書を読みながら、その問いを深めていくと、ドメスティック・バイオレンス問題の核心を理解することにつながっていく。援助の方法も具体的に提示している。

弁護士が説く DV解決マニュアル 改訂版

長谷川京子・佐藤功行・可児康則/著
朱鷺書房/刊

日本のDV防止法である「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」の3次改正が行われ、2014年1月から施行。DV事件について実務を担当する弁護士が、被害者ならびに支援者に向けて、被害者への適切な法的援助が提供されるよう解説している。

DV被害者支援ハンドブック サバイバーとともに

尾崎礼子/著
朱鷺書房/刊

アメリカでサバイバーの視点に立った支援方法を構築してきた活動家たちの知恵と経験に基づいて書かれている。日本でDVサバイバーを支援したい、どうすればできるだろうか、という熱い思いを持っている人たちへおすすめの著書。

ドメスティック・バイオレンス

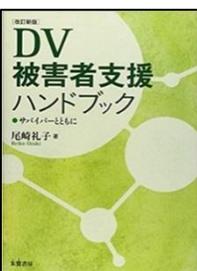
鈴木隆文・麻鳥澄江/著
教育史料出版会/刊

援助とは何か、援助者はどう考え行動するべきか、行政や学校などの相談窓口で、病院や保健所など医療の現場で、警察や裁判所や法律事務所で、DV被害に遭った女性への援助にかかわるすべての人へ、その基本と実務について書いている。

加害者は変わるか？ -DVと虐待をみつめながら-

信田さよ子/著
筑摩書房/刊

多くの女性たちへ、彼らの個人的な問題だけが加害を生み出しているわけではないことを冷静に見据えてほしい。多くの男性たちへ、女性は暴力を望んでいないこと、暴力は深刻な影響を与えること、を理解してほしいと著者。「Webちくま」での連載を掲載。





新 気づいて乗りこえる

長谷川七重+グループしおん/著
メディアアイランド/刊

当事者の人たち、さまざまな立場の支援者の人たちに。「屈折した支配のコントロール」とは、受けていると感性や意識がどのように変化するか、どう対応すればいいか、など当事者とカウンセラーが生み出したワークから、被害を乗り越えるためのヒントが得られる。



暴力被害と女性 理解・脱出・回復

村本邦子/著
昭和堂/刊

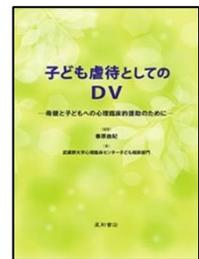
暴力は人と人とのつながりを破壊する。「女性への暴力」に目を向けることで、女性であり男性であれ、互いを尊重し、思いやりを持って、つながっていける社会を作っていくことができれば、と、女性への暴力の本質を、中核からとらえている。



ルポ 虐待 -大阪二児置き去り死事件-

杉山春/著
ちくま新書/刊

2010年夏、3歳の女兒と1歳9カ月の男児の死体が、大阪市内のマンションで発見された。母親の人生をたどり、母親自身の抱えてきた問題を通して、なぜ幼い2人は命を落とさなければならなかったのか、奈落に落ちた母子の悲劇を問う渾身のルポルタージュ。



子ども虐待としてのDV -母親と子どもへの心理臨床的援助のために-

春原由紀/編著 武蔵野大学心理臨床センター子ども相談部門/著
星和書店/刊

DVのある家庭で起きている暴力と支配の関係性や子どもへの影響を理解する。子どもと母親、そして母子関係への包括的な援助をめざす画期的な心理臨床アプローチなど、武蔵野大学心理臨床センター子ども相談部門での心理臨床的援助の実際を知る。



DV・虐待にさらされた子どものトラウマを癒す

ランディ・バンクロフト/著
白川美也子/山崎知克/監訳 阿部尚美・白倉三紀子/訳
明石書店/刊

パートナーからの日常的・常習的なDVに直面し、そのできごとを見たり聞いたりすることで子どもたちが受ける悪影響を心配している女性たちのための本。子どもの心がどのように傷つくか、それを癒すために母親はどのような援助ができるか、説明している。

情報コーナーの利用について

貸出：1人2冊まで、2週間（延長可）

対象：長岡京市在住・在勤・在学の人

※図書の貸出しには

「情報利用者カード」の登録が必要です。

カードの登録には、運転免許証など、本人確認が出来るものをお持ちください。

紹介した本は情報コーナーで貸出しています。
他にも同ジャンルの本や新着図書がたくさん
あります。職員におたずねください。

◇編集・発行◇

長岡京市女性交流支援センター
〒617-0833

京都府長岡京市神足2丁目3番1号

長岡京市立総合交流センター6階

TEL 075-963-5501 FAX 075-963-5521

E-mail: josei-c@city.nagaokakyo.lg.jp

開館時間：午前9時～午後5時（日・祝を除く）